

Challenge !

令和4年8月9日（火）午前10時00分

さらに前へ！住みたいまち菊川市！！

菊川市役所 企画財政部 営業戦略課

8月 定例記者会見

市のすがた(令和4年7月31日現在)

●人 口：47,819人(前月比 -24人)

●世帯数：18,651世帯(前月比 +1世帯)

●市長リリース事項

資料1 平和への願いを次の世代へ！
「菊川市戦没者追悼式」を開催します

資料2 菊川市と静岡鉄道(株)の連携企画
若手職員対象の「課題解決型研修」を実施！

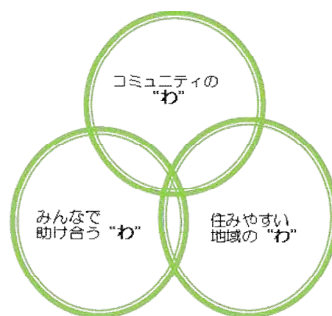
資料3 営業戦略第3弾！全国最大級の自治体応援コミュニティを目指して
きくがわ応援大使を募集します！

●情報提供事項

資料4 菊川市中小企業DX推進プロジェクトの開始について

資料5 今年度のテーマは「生き物・花」
菊川市民絵画コンクール作品募集中！

資料6 “これから” への想いの紡ぎ方
「菊川市版人生会議ノート講演会」を開催します



資料 1

菊川市長定例記者会見【令和4年8月9日】

平和への願いを次の世代へ！ 「菊川市戦没者追悼式」を開催します

担当：健康福祉部 福祉課 社会福祉係（TEL 0537-37-1123）

慰霊行事は、今年度より「菊川市戦没者追悼式」に一本化して開催します

1 主旨・目的

例年、しずたまほうさんかい静霊奉賛会菊川市支部で主催していた8月の「戦没者追悼式」、秋に開催していた「菊川地区慰霊祭」及び「小笠地区慰霊祭」について、**今年度から菊川市主催の「戦没者追悼式」に一本化し開催します。**

太平洋戦争の終戦から今年で77年が経過します。遺族会の高齢化に伴う会員数の減少や活動縮小など、戦争当時の体験を知る当事者世代の減少が進んでおり、若い世代へどのようにバトンをつないでいくかが課題となっています。そこで、市遺族会などの関係者と協議を進め、慰霊行事の見直しを行いました。

当式典は、「先の大戦における戦没者に対し追悼の誠を捧げること」「世界の平和を祈願すること」「戦後の平和を永久に継続するため、戦争を知らない若い世代に戦争の悲惨さ、平和の尊さについて再認識してもらうこと」を目的とし、全国戦没者追悼式と同日8月15日に開催します。

2 概要

(1) 日時 令和4年8月15日（月）

午前11時45分～午後1時15分（予定）

（受付：午前11時～11時40分）

(2) 会場 菊川文化会館アエル 大ホール（菊川市本所2488-2）

(3) 参加者 約250人 ※どなたでも参加できます

市長、市議会議員、国会議員、県議会議員、市議会議員、市遺族会会長、連合自治会長、社会福祉協議会会長、市内年長児5名、市遺族会会員、一般市民参列者

(4) 内容・日程

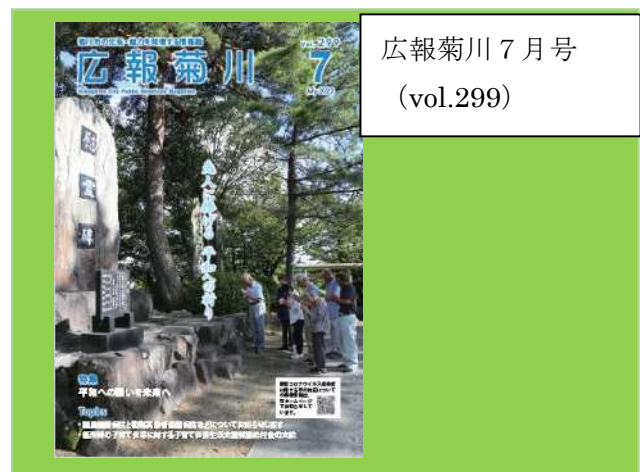
- 1 開式 11:45～
- 2 全国戦没者追悼式中継 11:50～
アエルスクリーンに投影する（天皇皇后両陛下御臨場・国歌斉唱・内閣総理大臣式辞）
中継に合わせ12時より黙とう（1分間）
天皇陛下のお言葉を拝聴する。拝聴後、中継終了
- 3 式辞（菊川市長）12:05～
- 4 追悼のことば 12:10～
- 5 献花 12:30～
献花は、ステージ来賓、市内年長児（5名）、客席参列者の順に行います。
- 6 「戦没者御遺族の手記」朗読 12:50～
- 7 閉式 13:15頃（予定）

○司会・朗読は、フリーアナウンサーの小沼みのりさんをお願いします。

○1階ホワイエには、戦没者名簿、関連資料等の展示を行う予定です。

○令和4年7月21日発行の広報菊川7月号（vol.299）に、当式典に関連した特集記事を掲載しました。

○今後、新型コロナウイルス感染状況によっては、皆様の安全を優先し、開催方法を変更する場合があります。



(5) 主催 菊川市

共催 菊川市社会福祉協議会

資料 2

菊川市長定例記者会見【令和4年8月9日】

菊川市と静岡鉄道(株)の連携企画 若手職員対象の「課題解決型研修」を実施！

担当：建設経済部 商工観光課 商工観光係 (TEL 0537-35-0936)

1 主旨・目的

菊川市と静岡鉄道(株)が連携して、若手職員を対象にした「課題解決型研修」を実施します。市内事業者の販路拡大の検討や事業提案などを通じて、相手のニーズに応える姿勢や企画発想力、実行力の習得などを目指します。

連携により、双方の若手職員が、事業者の課題解決をテーマに、一緒に悩み、考え、何らかの答えを見つけ出す過程を通して、それぞれのノウハウや強みを理解することが期待できます。

2 概要

(1) 主催等

主 催：菊川市、静岡鉄道株式会社

協 力：菊川市地域おこし協力隊、菊川市内4事業者

(2) 受講対象者

菊 川 市：若手職員4名(商工観光課2名、農林課2名)

静岡鉄道(株)：入社4年目社員16名

(3) 実施時期

回数	時期	場所	内容
第1回	令和4年 9月9日(金)	菊川市役所 東館2階	・研修概要説明、企業ヒアリング ・事例紹介(ふるさと納税、キッチンカー) 【目標】 市内事業者への理解を深め、チームごとに「誰が、誰に、何を、どのように」販売するかアイデアを出しあう。
第2回	令和4年 10月7日(金)	菊川市役所 東館2階	・販路拡大施策提案 ・事業者フィードバック 【目標】 販路拡大のための施策実行に向けた提案を行う。
—	令和4年 10月~12月	各 地	・各チームで販路拡大施策の実践、検証
第3回	令和4年 12月9日(金)	菊川市商工会 2階	・成果発表会

菊川市長定例記者会見【令和4年8月9日】

営業戦略第3弾！全国最大級の自治体応援コミュニティを目指して きくがわ応援大使を募集します！

担当：企画財政部営業戦略課営業広報係（TEL 0537-35-0924）

1 主旨・目的

「きくがわ応援大使」は、菊川市営業戦略アドバイザー鬼石真裕（おにいし まさひろ）氏と共に立ち上げた菊川市の魅力創出及び関係人口創出・拡大に係るプロジェクトです。

大使といえば、芸能人やスポーツ選手など「有名人」といわれる人になるイメージですが「きくがわ応援大使」は違います。「菊川市が大好き！」「菊川市を応援したい！」という思いを持った菊川市民や菊川を大事に思ってくださいる全ての皆さんにご活躍いただきたいと考えています。

【目標：登録者 1,000 人】



2 概要

(1) 目的

- ・ 居住地に関わらず菊川市に関わりを持ちたい人達との縁を結び、深めること
- ・ 大使としての活動を楽しみながら菊川市の魅力、元気を創出してもらうこと

(2) 背景

SNSの普及によって、時として個人の発信力は組織や有名人を凌駕するものとなっています。さらに、自分の興味のある分野で新しい知識や情報をインプットし、気軽に意見をアウトプットできる場としてオンラインでのコミュニティ参加が人気を集めています。個人が発信した情報や思いに反応し、共鳴する人たちが起こす化学反応への期待と影響力は計り知れません。

そこで、本プロジェクトでは、きくがわ応援大使が名刺を持って活動するだけでなく、大使それぞれの得意分野で個々のスキルを活かしつつ、オンラインコミュニティでの課題解決力を総合させて取り組む地方創生の取組です。

(3) 制度の内容

名称	きくがわ応援大使	きくがわ応援特任大使
対象	地方創生や地域活性化に興味があり、菊川を応援したいと思っている人 菊川を大事に思ってくれる人であれば、どなたでも ※居住地を問わない 法人、団体、学校もO.K.	菊川市にご縁、ゆかりがあって、各種分野で活躍されている個人 高い影響力と実行力で、菊川を強力に応援してくれる個人 ※該当する方へ市から依頼
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の得意分野で菊川市の魅力を発信 ・ 会員専用のプライベートコミュニティへ参加 など 	

(4) 登録者特典

- ・オリジナル任命状の発行 ※初回登録時に郵送
- ・大使専用名刺デザインの提供
- ・大使専用プライベートコミュニティへの招待
(Facebookグループ、Meetupの開催、地域交流会など)
- ・モニターツアーへの招待

(5) 登録方法 ※本日から受付開始

専用の申込フォームから申請 (<https://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/ouentaisi>)

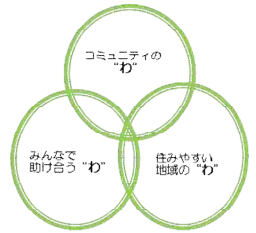


(6) きくがわ応援特任大使(予定) ※敬称略

<p>ユニークで大胆な企画「きくがわチャバチュー」を通じて、菊川の魅力を全国に発信します！</p>  <p>山名 清隆 (やまな きよたか)</p>	<p>今回の取組みを通じて、日本の新しい地方創生や地域活性化の形を見出せればと思っています！</p>  <p>野本 周作 (のもと しゅうさく)</p>	<p>菊川市は、市のブランディングと認知度アップの可能性が無限大！一緒に盛り上げて行きましょう。</p>  <p>山本 記代美 (やまもと きよみ)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市出身 ・(株)スコップ代表取締役社長 ・日本愛妻家協会事務局長 ・菊川の茶畑の中心で愛を叫ぶプロデューサー 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)エー・ピーホールディングス 取締役 上席執行役員 COO ・生販直結を手掛ける外食産業の観点から助言支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市育ち ・外資消費財メーカーマネージャー ・ブランディング戦略設計のプロフェッショナル
<p>大好きな茶畑の風景とお茶農家を守るため、菊川深蒸し茶の魅力を次世代そして世界に伝えていきます。</p>  <p>江波 星見 (えなみ ほしみ)</p>	<p>やさしいみどり色の菊川茶ファンと一緒に増やしていきましょう。応援しています！</p>  <p>満木 葉子 (みつaki ようこ)</p>	<p>昔から継承されている地域の伝統的なイベント等の魅力も含めて、世界に向けて発信していきたいです。</p>  <p>道下 ひさこ (みちした ひさこ)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市育ち ・増田園 代表 ・販売商品「茶育キット」に菊川市産深蒸し茶を採用 	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)日本茶アンバサダー協会 代表理事 ・日本茶に関する知見やネットワークを活かした茶業振興に関する助言・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市出身 ・茶道 表千家正教授 ・アメリカでピアノ講師として活躍中 ・音楽療法士

菊川市情報発信資料

情報提供日：令和4年8月9日
問い合わせ：建設経済部商工観光課
産業振興係（Tel：0537-35-0936）



送信者：菊川市営業戦略課（0537-35-0924）

（件名）

菊川市中小企業DX推進プロジェクトの開始について

1 主旨・目的

労働人口の減少、コロナ禍などにより、中小企業においても業務やビジネスモデルの変革の気運が高まっている。また、「人手不足」が深刻化する中で生産性の向上を図るためには業務のデジタル化は急務になっている。各業務のデジタル化は今後確実に進むものであり、無対策では事業継続に支障が出るおそれもある。一方、企業訪問をする中で「DXといっても何から手を付けたら良いか分からない」「自社に最適なツールが分からない」といった声も伺う。そこで本市は、中小企業支援をしている島田掛川信用金庫と菊川市商工会と連携し、市内中小企業のデジタル化に向けた取り組みを推進する。

2 概要

（1）開始日 令和4年7月19日（火）～

（2）内容

島田掛川信用金庫と締結した「地方創生の推進に向けた連携に関する協定書」に基づいた中小企業支援のひとつとして、連携してDX推進をサポートしていくためのプロジェクトを開始した。

① 中小企業の経営課題を把握する

中小企業庁が提供する「デジタル化診断ツール」を使い、各社の課題とその解決に適したデジタル化の手段を知っていただく。島田掛川信用金庫や菊川市商工会が診断ツールの利用をサポートする。

② 経営課題に合わせた伴走支援

診断ツールの利用によって明らかになった経営課題に対して、島田掛川信用金庫及び菊川市商工会が補助金の申請補助、経営改善や販路拡大の専門家を紹介するなどの伴走支援を行う。

（3）関係機関 菊川市、島田掛川信用金庫、菊川市商工会

菊川市中小企業DX推進プロジェクト

「売り上げの向上や経営改善を図りたい」
「人手が足りないので業務の効率化・省人化を図りたい」
「取引先から紙ではなくデジタルでのやり取りを求められている」

...その悩み、デジタル化で解決できるかも？

中小企業者の皆様のDXをサポートします！

DXとは、デジタル化を進めることで企業体質を改善していくことです。
企業内のデジタル化を進め、業務効率の改善や売り上げの向上を目指しましょう。

支援の流れ

1 自社の経営課題の把握

中小企業庁が提供する「**デジタル化診断ツール**」を使い、会社の課題とその解決に適したデジタル化の手段を知りましょう。島田掛川信用金庫や菊川市商工会が診断ツールの利用をサポートします。

2 経営課題に合わせた伴走支援

診断ツールの利用によって明らかになった経営課題に対して、島田掛川信用金庫や菊川市商工会が、専門家の紹介や補助金申請補助などの伴走支援を行います。

※デジタル化診断ツールとは

現在の経営課題等に関する質問に回答するだけで、その課題解決に適したデジタル化の手段がわかるシステムです。また、自社のデジタル化がどのレベルまで進んでいるのか、同業種等との比較も可能です。

プロジェクト 全体図

中小企業者

・ デジタル化診断ツール
利用支援
・ 補助金申請支援

島田掛川信用金庫
菊川市商工会

・ 経営相談
・ DX相談

・ 診断結果の共有
・ 支援策の検討

・ 支援機関の紹介
・ DX・プロジェクト
に係る広報

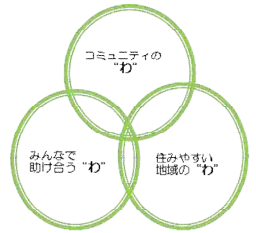
菊川市

お問合せ

菊川市建設経済部 商工観光課 産業振興係
〒439-8650 菊川市堀之内61番地
電話 0537-35-0936 FAX 0537-35-2114
E-mail shoukou@city.kikugawa.shizuoka.jp

菊川市情報発信資料

情報提供日：令和4年8月9日
問い合わせ：教育文化部社会教育課
社会教育係（Tel：0537-73-1114）



送信者：菊川市営業戦略課（0537-35-0924）

（件名）

今年度のテーマは「生き物・花」

菊川市民絵画コンクール作品募集中！

1 主旨・目的

菊川市では、幅広い層の市民に芸術文化に対する親しみを感じ、参加意識を高めてもらうことで、地域文化の振興を図ることを目的に「菊川市民絵画コンクール」を令和3年度から開催しています。

今年度は、「生き物・花」をテーマに、子どもから大人まで市内在住在学の皆さんの作品を募集しています。たくさんの皆さんからのご応募お待ちしております！

2 概要

【募集内容】 テーマ「生き物・花」

- (1) 募集期間 7月19日（火）～8月20日（土）
- (2) 画材 絵具、クレヨン、色鉛筆など
- (3) 応募資格 菊川市在住・在学の方及び組合立牧之原小・中学生
- (4) 用紙 四つ切り(540×380mm)またはハガキサイズ(100×148mm)の白画用紙のどちらか(ハガキも可)

横描き

- (5) 申込方法 菊川市役所1階、中央公民館、菊川文庫、小笠図書館に置いてある応募用紙に必要事項を記入の上、貼付用は切り取って作品裏面右下に貼り付け、応募用紙と作品を併せて菊川市文化協会事務局(菊川市中央公民館)まで提出。

平日受付：午前8時30分～午後5時（水曜日は午後7時まで）

休日受付：8月20日（土） 午前9時～午前11時

【表彰式・展示等】

- (1) 賞 特別賞（市長賞他）、入選（金・銀・銅賞）
- (2) 表彰式 9月17日（土）午前9時～ 菊川市中央公民館★特別賞受賞者のみ
※入賞された方には通知にてお知らせいたします。
- (3) 作品展示 全作品：菊川市中央公民館 9月17日（土）～10月2日（日）

【主催・問い合わせ等】

- (1) 主催等 主催：菊川市、菊川市教育委員会 主管：菊川市文化協会
- (2) 問い合わせ 菊川市文化協会事務局（教育委員会社会教育課内）
〒437-1514 菊川市下平川6225
TEL 0537-73-1114 FAX 0537-73-6863

菊川市民絵画コンクール



テーマ「生き物・花」

募集期間	7月19日（火）～8月20日（土）
画材	絵具、クレヨン、色鉛筆など
応募資格	菊川市在住・在学の方及び組合立牧之原小・中学生
用紙	四つ切り(540×380mm)またはハガキサイズ(100×148mm)の白画用紙のどちらか(ハガキも可)
横書き	
申込方法	下記用紙に必要事項を記入の上、貼付用は切り取って作品裏面右下に貼り付け、応募用紙と作品を併せて菊川市文化協会事務局(菊川市中央公民館)まで提出してください。 平日受付：月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時（水曜日は午後7時まで） 休日受付：8月20日（土） 午前9時～午前11時
主催	主催：菊川市、菊川市教育委員会 主管：菊川市文化協会
問合せ先	菊川市文化協会事務局（教育委員会社会教育課内） 〒437-1514 菊川市下平川6225 TEL 0537-73-1114 FAX 0537-73-6863

キリトリ ✂

応募用紙		菊川市民絵画コンクール	
ふりがな		住所	〒
氏名			
学校名・園名 (自治会名)		電話番号	自宅
年齢	学年 (年少・中・長)		携帯

・作品と併せて提出してください。

キリトリ ✂

貼付用		菊川市民絵画コンクール	
ふりがな		キリトリ ✂	
氏名			
学校名・園名 (自治会名)			
年齢	学年 (年少・中・長)		

・切り取って作品裏面右下に貼り付けて下さい。

※一般の方は自治会名を記入してください。

※作品裏面には、作品の上がわかるように↑を記入してください。

裏面へ→

賞

特別賞（市長賞他）、入選（金・銀・銅賞）

表彰式

9月17日（土）午前9時～ 菊川市中央公民館 ★特別賞受賞者のみ

入賞者通

入賞された方には通知にてお知らせいたします。

展示

全作品：菊川市中央公民館 9月17日（土）～10月2日（日）

作品返却

菊川市中央公民館にて返却します。金・銀・銅賞の方は賞状もお渡しします。

平日：10月5日（水）～7日（金）午前8時30分～午後5時（水曜日は午後7時まで）

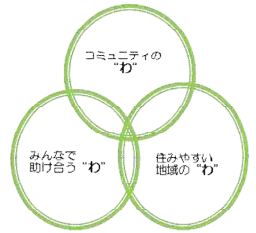
休日：10月8日（土）午前9時～午前11時

その他

- 作品の一切の権限は主催者側に帰属します。
- 応募者自身が手書きで描いたオリジナル作品で一人一作品。
- 出品作品、氏名、学校名、学年、自治会名を新聞等各メディアに情報提供させていただく場合がありますので予めご承知おきください。
- 必要事項に不備がある場合は、無効となる場合があります。

菊川市情報発信資料

情報提供日：令和4年8月9日
問い合わせ：健康福祉部長寿介護課
高齢者福祉係（Tel：0537-37-1254）



送信者：菊川市営業戦略課（0537-35-0924）

（件名）

“これから”への想いの紡ぎ方
「菊川市版人生会議ノート講演会」を開催します

1 主旨・目的

菊川市では、もしもの時の医療やケアについて、自分の希望や価値観などを大切な人と話し合う1つの手助けとして「私のこれからノート」を作成しました。

今回、将来どんな医療・ケアを望んでいるかなど、自身のこれからの考えるきっかけとなるよう、講演会を下記のとおり開催します。

2 概要

【講演会】<<これからノート>>つくってみませんか？

- (1) 日時 8月27日(土) 13時30分～15時(開場：12時30分)
- (2) 会場 菊川文化会館アエル 小ホール
- (3) 対象 どなたでも
- (4) 定員 150人(申込不要、参加費無料)
- (5) 話し手 菊川市家庭医療センター長 松田真和氏

【同時開催】ミニ健康チェックの日

- (1) 日時 8月27日(土) 12時30分～16時
- (2) 会場 菊川文化会館アエル 展示ロビー
- (3) 内容 「骨密度」「血管年齢」などのチェックが行えます！
- (4) 協力 菊川市地域医療を守る会、杏林堂薬局、明治安田生命

【問い合わせ】長寿介護課 0537-37-1254

“これから”への想いの紡ぎ方

「私」はいままでどんな生活をしてきたらう？

「私」はこれからどんな生活をしたいらう？

病気や突然の事故、そんな誰にでも起こりうる“もしも”のとき
最期まで「私」らしくいられるよう“私のこれから”を大切な家族と
考えてみませんか？

～講演会～

<<これからノート>>

つくってみませんか？

- ・人生会議とは？
- ・菊川市版人生会議ノート「これからノート」の使い方



●日時

8月27日（土）
13時30分～15時
（開場：12時30分）

●場所

菊川文化会館アエル
小ホール（住所：本所2488-2）

●対象

どなたでも

申込不要
参加費無料

【話し手】

菊川市家庭医療センター長
松田 真和 氏



同時
開催

～ミニ健康チェックの日～

会場：アエル展示ロビー

時間：12時30分～16時

「骨密度」「血管年齢」などのチェックが行えます！

【協力】

- ・菊川市地域医療を守る会
- ・杏林堂薬局
- ・明治安田生命

【問い合わせ】 菊川市長寿介護課高齢者福祉係（プラザけやき内37-1254）